

貸借対照表

2019年12月31日現在

ciRobotics株式会社

(単位:千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
【流動資産】	[80,735]	【流動負債】	[60,715]
現金及び預金	5,849	買掛金	10,148
売掛金	18,554	短期借入金	40,000
原材料	31,586	未払金	1,174
仕掛品	8,356	未払費用	624
前渡金	15,295	前受金	5,337
未収収益	118	仮受金	2,211
その他	180	未払法人税等	91
貸倒引当金	△37	未払消費税等	550
【固定資産】	[20,835]	賞与引当金	290
(有形固定資産)	16,735	その他	286
建物附属設備	183	負債合計	60,715
工具、器具及び備品	5,067	(純資産の部)	
機械装置	11,483	【株主資本】	[40,855]
(無形固定資産)	1,133	資本金	45,000
ソフトウェア	142	資本準備金	35,000
商標権	991	利益剰余金	△39,144
(投資その他の資産)	2,965	その他利益剰余金	△39,144
繰延税金資産	2,965	繰越利益剰余金	△39,144
		純資産合計	40,855
資産合計	101,570	負債・純資産合計	101,570

(注) 記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

【 重要な会計方針 】

1 . 資産の評価基準及び評価方法

たな卸資産の評価基準及び評価方法

評価基準は原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）によっております。

・仕掛品	個別法
・原材料	総平均法
・貯蔵品	総平均法

2 . 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

建物は定額法、それ以外の有形固定資産は定率法によっております。

なお、主な耐用年数は次のとおりであります。

建物	10 年
工具、器具及び備品	2～7 年
機械装置	14 年

(2) 無形固定資産

・自社利用目的のソフトウェア

社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法によっております。

3 . 引当金の計上基準

貸倒引当金 債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

賞与引当金 従業員の賞与支給に備えるため、支給見込額の当期負担分を計上しております。

4 . その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理 消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式を採用しております。

【 貸借対照表に関する注記 】

有形固定資産の減価償却累計額

13,409 千円

【 株主資本等変動計算書に関する注記 】

発行済株式の種類及び総数

株式の種類	前事業年度末 株式数	当事業年度 増加株式数	当事業年度 減少株式数	当事業年度末 株式数
普通株式	1,600 株	- 株	- 株	1,600 株

【 当期純損益金額 】

当期純損失 26,856 千円